

広島大学学術情報リポジトリ
Hiroshima University Institutional Repository

Title	日本人に対する韓国語教育 : 対照言語研究の観点から
Author(s)	全, 在昊
Citation	ニダバ , 25 : 1 - 7
Issue Date	1996-03-31
DOI	
Self DOI	
URL	https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00047982
Right	
Relation	



日本人に対する韓国語教育

— 対 照 言 語 研 究 の 観 点 か ら —

全 在 昊

0. 目的

本稿は日本語話者に対して韓国語を教授する上で、その音声の教授上の問題点を取り上げ、考察するものである。なお、本稿は、1995年9月9日、島根県立国際短期大学で行われた第25回西日本言語学会研究発表会・講演会における講演原稿に加筆訂正したものである。

1. 音節

韓国語は音節の種類が三声からなる3種がある。日本語は二声で構成された2種である。これをまとめると次のようになる。

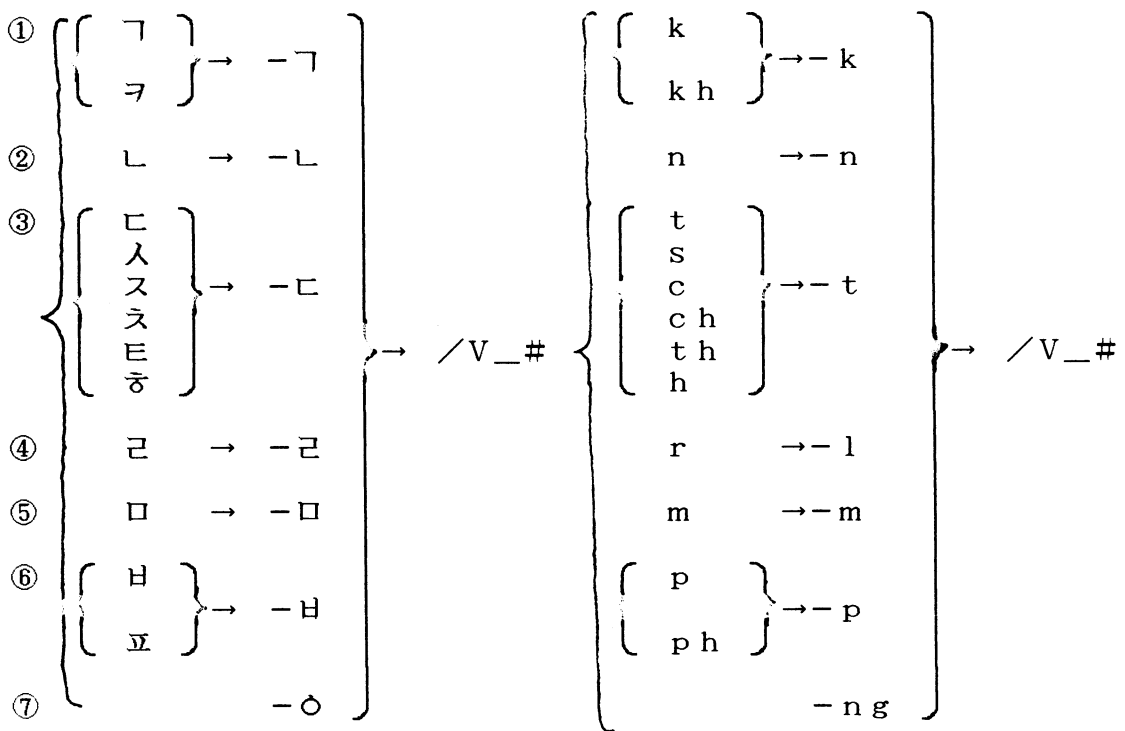
日本語	a)	V (母音)		o (尾)
	b)	CV (子音+母音)		to (戸)
	c)	CVC (子音+母音+後行副音)		maQsaki (massaki)
韓国語	a)	V	中声 (medial)	o (五)
	b)	CV	初声 (initial) + 中声	go (高)
	c)	CVC (C)	初+中+終声 (final)	gom (熊)

1) 日本語音節の後行副音TNは、韓国語のような独立した末音ではなく、かつその機能が違う。

2) 日本語との差異は終声があるかないかであり、この終声が日本語話者に問題を引き起こしている。従って、日本語話者が、この韓国語の終声にどう対応するかも興味深い。

2. 音節末音 (終声)

韓国語において子音 (硬音以外) はすべて終声に使われるのが原則である。14個の子音を発音位置別に、次のようにまとめることができる。



日本語話者はこの韓国語の末音（終声）の一般的な発音の習得が困難であり、特にその完全閉鎖の特性と発音の習得は難しい。この指導法を是非研究すべきである。そのため、日本語話者の終声発音の傾向がどうであるかをまず考察する必要がある。

上の終声の問題は、次の三点が骨子となる。

1. 7個の音に中和する現象を理解して、中和の音を発音する。
2. 末音の完全閉鎖 (stop) の特性を究めて、閉鎖音 (unrelease) の発音をはっきりさせる。
3. 末音の発音法を研究して、その発音に慣れる。

①'	악 (悪)	aʔ (aku)	[a [̃] k]
②'	눈 (眼)	nung (nun) (num)	[nun]
③'	옷 (服) →	oʔ (oto)	[o [̃] t]
④'	달 (月)	taru	[tal]
	길 (道)	kiru	[kil]
	보올 (ボール)	*booru	[boɔl]
⑤'	김 (金)	kimu (kin) (king)	[kim]
	김치 (キムチ)	*kimuchi	[kimchi]
	답답하다	dabudabuhamunida	[dabdabhamnida]

⑥'	입 (口)	iʔ (i bu)	[i p]
⑦'	동 (東)	tong (t on) (t om)	[t ong]

3. 音節子音の連結

日本語

- 1) V+V
- 2) V+CV
- 3) CV+V
- 4) CV+CV

韓国語

- ① V
- ② CV
- ③ CVC
- ④ CVCC

1)	V+V	a · i	(児)
2)	V+CV	ə · di	(何処)
3)	V+CVC	o · ri n	(右)
4)	V+CVCC	y ə · d ə l b	(八)
5)	CV+V	s a · i	(間)
6)	CV+CV	n a · m u	(木)
7)	CV+CVC	b a · d a g	(底)
8)	CV+CVCC	s u · t h a l g	(雄鶏)
9)	CVC+V	j ə n g · o	(正午)
10)	CVC+CV	a m · s o	(牝牛)
11)	CVC+CVC	b o n · s i m	(本心)
12)	CVC+CVCC	a m · t h a l g	(雌鶏)
13)	CVCC+V	d o l s · i	(暮+助詞)
14)	CVCC+CV	b a l b · g o	(踏+語尾)
15)	CVCC+CVC	h i l g · b y ə g	(土壁)
16)	CVCC+CVCC	h i l g · b a l b a	(踏地+語尾)

1) 音節連結が16種に分析できる。このうち、子音音節連結が両言語の比較において、課題になる。先行音節の末子音と後続音節の頭子音との連結、即ち、10)～12) 3種

の考察が必要である。

2) 先行音節子音は中和した音だけをとって、7子音にする。この7音と18個の後続子音が連結した126個の子音結合を表に表して考察する。

3) 日本語の子音連結には促音と撥音でつなぐ2種の方法があり、日本語話者は韓国語の子音連結をそれに当てはめて発音する傾向がある。

現実の日本語話者の子音連続の発音状況をまとめると、<表1>のようになる。

<表1>

日本語話者の子音連結の発音状況

	韓	日	韓	日	韓	日	韓	日	韓	日	韓	日	韓	日
先行音 後続音	-b	-Q	-d	-Q	-g	-Q	-m	-N	-n	-N	-ng	-N	-i	r
ㅂ b-	ㅂㅂ	bb	ㄷㅂ	bb	ㄱㅂ	bb	ㅁㅂ	mb	ㄴㅂ	mb	ㅇㅂ	mb	ㅣㅂ	r ^{ub}
ㅃ bh-	ㅃㅃ	bbh	ㄷㅃ	bbh	ㄱㅃ	bbh	ㅁㅃ	mbh	ㄴㅃ	mbh	ㅇㅃ	mbh	ㅣㅃ	r ^{ubh}
ㅅ bb-	ㅅㅅ	bbb	ㄷㅅ	bbb	ㄱㅅ	bbb	ㅁㅅ	mbb	ㄴㅅ	mbb	ㅇㅅ	mbb	ㅣㅅ	r ^{ubb}
ㄷ d-	ㄷㄷ	dd	ㄷㄷ	ddd	ㄱㄷ	dd	ㅁㄷ	nd	ㄴㄷ	nd	ㅇㄷ	nd	ㅣㄷ	r ^{ud}
ㅌ dh-	ㄷㄹ	ddh	ㄷㄹ	ddh	ㄱㄹ	ddh	ㅁㄹ	ndh	ㄴㄹ	ndh	ㅇㄹ	ndh	ㅣㄹ	r ^{udh}
ㄷㄷ dd-	ㄷㄷㄷ	ddd	ㄷㄷㄷ	ddd	ㄱㄷㄷ	ddd	ㅁㄷㄷ	ndd	ㄴㄷㄷ	ndd	ㅇㄷㄷ	ndd	ㅣㄷㄷ	r ^{udd}
ㅅㅅ s-	ㅅㅅ	sss	ㄷㅅ	sss	ㄱㅅ	sss	ㅁㅅ	ns	ㄴㅅ	ns	ㅇㅅ	ns	ㅣㅅ	r ^{us}
ㅆ ss-	ㅆㅆ	sss	ㄷㅆ	sss	ㄱㅆ	sss	ㅁㅆ	nss	ㄴㅆ	nss	ㅇㅆ	nss	ㅣㅆ	r ^{uss}
ㅈ j-	ㅈㅈ	jj	ㄷㅈ	jj	ㄱㅈ	jj	ㅁㅈ	nj	ㄴㅈ	nj	ㅇㅈ	nj	ㅣㅈ	r ^{uj}
ㅊ ch-	ㅈㅊ	jch	ㄷㅊ	jch	ㄱㅊ	jch	ㅁㅊ	nch	ㄴㅊ	nch	ㅇㅊ	nch	ㅣㅊ	r ^{uch}
ㅉ jj-	ㅉㅉ	jjj	ㄷㅉ	jjj	ㄱㅉ	jjj	ㅁㅉ	njj	ㄴㅉ	njj	ㅇㅉ	njj	ㅣㅉ	r ^{ujj}
ㅊㅈ g-	ㅈㅊ	gg	ㄷㅈ	gg	ㄱㅈ	gg	ㅁㅈ	ngg	ㄴㅈ	ngg	ㅇㅈ	ngg	ㅣㅈ	r ^{ug}
ㅊㅊ gh-	ㅈㅊㅊ	ggh	ㄷㅈㅊ	ggh	ㄱㅈㅊ	ggh	ㅁㅈㅊ	nggh	ㄴㅈㅊ	nggh	ㅇㅈㅊ	nggh	ㅣㅈㅊ	r ^{ugh}
ㅊㅊㅈ gg-	ㅈㅊㅈ	ggg	ㄷㅈㅈ	ggg	ㄱㅈㅈ	ggg	ㅁㅈㅈ	nggg	ㄴㅈㅈ	nggg	ㅇㅈㅈ	nggg	ㅣㅈㅈ	r ^{ugg}
ㅎ h-	ㅎㅎ	hh	ㄷㅎ	hh	ㄱㅎ	hh	ㅁㅎ	ngh	ㄴㅎ	ngh	ㅇㅎ	ngh	ㅣㅎ	r ^{uh}
ㅁ m-	ㅁㅁ	mm	ㄷㅁ	mm	ㄱㅁ	mm	ㅁㅁ	nm	ㄴㅁ	nm	ㅇㅁ	nm	ㅣㅁ	r ^{um}
ㄴ n-	ㄴㄴ	nn	ㄷㄴ	nn	ㄱㄴ	nn	ㅁㄴ	nn	ㄴㄴ	nn	ㅇㄴ	nn	ㅣㄴ	r ^{un}
ㄹ r-	ㄹㄹ	rr	ㄷㄹ	rr	ㄱㄹ	rr	ㅁㄹ	nr	ㄴㄹ	nr	ㅇㄹ	nr	ㅣㄹ	r ^{ur}

韓日間の____は両言語の発音が類似したもので、33種の連結である。その他の下線の無いものは発音の差異を示す。

(1) 閉鎖音同士の連続

調音の位置が同一である後続子音と調音の位置が相違する後続子音の発音現象をまとめると、<表2>のようになる。

<表2>

調音の位置が同一である後続子音と調音の位置が相違する後続子音

	先行子音	後続子音	発音位置	発音現象
韓国語	-日	日- ㄹ- ㅁ-	同一	後続音に同化 -ㅁ- -ㄹ- -ㅁ-
		ㄷ- ㅌ- ㄷ- ㄴ- ㄹ- 스- ㅌ- ㄹ- ㄴ- ㄹ-	相違	終声音価のとおり-日ㄷ- -日ㅌ- -日ㄷ-
	-ㄷ	ㄷ- ㅌ- ㄷ- ㄴ- ㄹ- 스- ㅌ- ㄹ-	同一	後続音に同化 -ㄷ- -ㅌ- -ㄷ- -ㄹ- -ㄹ- -ㄹ- -ㅌ- -ㄹ-
		日- ㄹ- ㅁ- ㄴ- ㄹ- ㄴ-	相違	終声音価のとおり-ㄷ日- -ㄷㄹ- ……
	-ㄴ	ㄴ- ㄹ- ㄴ-	同一	後続音に同化-ㄴ- -ㄴ- -ㄴ-
		日- ㄹ- ㅁ- ㄷ- ㅌ- ㄷ- ㄴ- ㄹ- 스- ㅌ- ㄹ-	相違	終声音価のとおり-ㄴ日- -ㄴㄹ- -ㄴㅁ-
日本語	-Q	b-	相違	後続音に同化 -bb-
		d- j- ch- s- …	同一	後続音に同化 -dd- -jj- -chch- -ss-
		g-	相違	後続音に同化 -gg-

韓国語は、先行子音と後続子音の調音の位置が同一の音の連続において同化が起こり、相違する音の連結音においては、同化が起こらず、元の音価の通りの発音となる。

日本語は先行する促音及び撥音と後続子音の連結においてみな後続音に同化される。従って、韓国語においての、同化されない、調音の位置が相違する音の連結でも後続子音によって同化される誤謬を犯す。

例：압도 [a b d o] 不同化：a b d o → a d d o：同化（圧倒）

この現象と機能を理解させ、これに対応する教育が要請される。

(2) 先行鼻音との連結

先行鼻音と後続子音の同化現象が両言語間においてどう違うかを対照し、日本語話者が実際の語例をどう発音しているかを次の<表3>に示す。

<表3>

韓国語		日本語			韓国語語例	日本語話者の 発音傾向
連結	変化	発音の 有無	連結	変化		
m・b	mb	○	N・b	mb	곰보	g o m b o
m・d	md	×	N・d	nd	담당	d a n d a n g
m・n	mn	×	N・n	nn	감나무	g a n n a m u
m・s	ms	×	N・s	ns	감사	g a n s a
m・r	MN	×	N・r	nr	삼림 (남)	s a n r i m
m・j	mj	×	N・j	nj	감자	g a n j a
m・g	mg	×	N・g	ngg	남국	n a n g g u g
m・h	mh	×	N・h	ngh	남하	n a n g h a
n・b	nb	×	N・b	mb	단비	d a m b i
n・d	nd	○	N・d	nd	간다	g a n d a
n・n	nn	○	N・n	nn	만나	m a n n a
n・s	ns	○	N・s	ns	신사	s i n s a
n・r	NN	×	n・r	nr	관리	g w a n r i
n・j	nj	○	N・j	nj	군자	g u n j a
n・g	ng	×	N・g	ngg	한국	h a n g g u g
n・h	nh	×	N・h	ng h	산하	s a n g h a
ng・b	ngb	×	N・b	mb	공부	g o m b u
ng・d	ngd	×	N・d	nd	공동	g o n d o n g
ng・n	ngn	×	N・n	nn	강남	g a n n a m
ng・s	ngs	×	N・s	ns	동생	d o n s e n g
ng・r	NGN	×	N・r	nr	종로 (노)	j o n r o
ng・j	ngj	×	N・j	nj	당장	d a n j a n g
ng・g	ngg	○	N・g	ngg	당구	d a n g u
ng・h	ng h	○	N・h	ng h	공항	g o n g h a n g

a) 韓国語は先行鼻音と後続閉鎖音との連結において先行鼻音が音韻的に同化しない。

b) 日本語は先行鼻音(撥音)と後続閉鎖音との連結において、先行鼻音が同化する。

①唇音の前では [m] に変わる。従って、日本語話者は唇音以外の音の前で [m] を出すのが困難である。

②歯茎音、硬口蓋音の前では [n] に変わる。従って、日本語話者は歯茎音、硬口蓋音以外の音の前で [n] を出すのが困難である。

③軟口蓋音、声門音の前では [ng] に変わる。従って、日本語話者は軟口蓋音、声門

音以外の音の前で [n g] を出すのが困難である。

4. 結び

以上の考察は次の表のようにまとめることができる。

	韓 国 語	日 本 語
1. 音節	3声からなる 音節の種類が多い	2声からなる 音節の種類が少ない
2. 末音	末音があつて、発音は停止音 発音法が易しい(韓国話者が)	末音がなくて開音節になる 発音法が難しい(日本語話者が)
3. 連結 ・連結方法 ・発音種類 ・音変化	多様(多種) 多様 同化しない、同化する	単純(少ない) 単純 同化する

今回の考察が、日本人に対する韓国語教育に携わる教育者、研究者の、教授のための一助となれば幸いである。

<参考文献>

1. 全在昊(1995):「日本에서의 韓国語教育 1」(『島根県立国際短期大学紀要第2号』)
2. 허웅(1991):『국어 음운학』(샘문화사)
3. 李 洙(1994):『韓国語音韻論』(仁荷大学校出版部)
4. 任瑚彬他(1989):『外国人のための韓国語文法』(延世大学出版会)
5. 全在昊他(1988):『新国語学概論Ⅱ 말과 소리』(蜚雪出版社)
6. 城田俊(1993):『日本語の音』(ひつじ書房)
7. 杉原美代子編:『日本語と日本語教育 2 音韻』(明治書院)
8. 橋本萬太郎他(1977):『講座日本語 5 音韻』(岩波書店)